

2008-09年度
R.I. テーマ



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries
R.I. District 2550 (Tochigi.Japan)

ガバナー 羽石 光 臣

2008-09年度 ガバナーの目標「子供たちに夢を」その夢をかたちに

「栗の実」

石川 瑞基 (鹿沼北小)
文星芸大子ども芸術祭・入賞



今月のガバナーズ・コラム
新 世 代 P2

「奉仕するものは行動しなければならない」

従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、これを客観的な行動に表さなければならない。
社会奉仕に関する 1923年の声明 (ロータリー要覧 P84)

9月のロータリーレート

1米ドル = 108円

目 次

- P2 羽石ガバナーメッセージ
- P3 新世代プロジェクト委員長報告
- P4 インターアクトクラブ海外研修報告
- P6 クラブ奉仕委員長報告
- P7 公式訪問だより
- P9 よねやま雑感
- P10 ハイライトよねやま 102号
- P12 第2550地区 新入会員紹介
- P14 米山記念奨学会・財団 表彰
- P15 文庫通信、通信欄
- P16 会員増強・出席報告



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 財団法人 栃木県青年会館 コンセーレ4階
TEL 028-611-3808 FAX 028-611-3809
<http://www.rid2550.jp> E-mail : d2550@silk.ocn.ne.jp

03
2008-09



新 世 代

国際ロータリー第 2550地区
2008-2009年度ガバナー

羽 石 光 臣 (宇都宮東 RO)

足利市民会館が開館（1966）した時、子供達の作文が展示してありました。

「みどりをもっと大切に」山辺小学校 3年 女子児童

何で木をたくさん切ったりするのかな
もし、みどりがなくなってしまったら空気がよごれてしまうかも知れないよ

木はとってもみんなを楽しませてくれるのにな
春には、かわいい黄みどり色のあかちゃんのめを出し、
夏にはみどり色のはっぱにかわり、元気な子ども、
秋になると赤や黄にかわり、もうすっかり大人、
冬ははっぱが茶色になって、顔がしわくちゃんおじいさんとおばあさん、

そして、また春にはうまれたての赤ちゃん

そんなかわいい木なのに切っちゃうなんてかわいそう

どうしても木を切らなくてはならない時は木にそっと口をちかずけてわけを話して下さい「家をたてるのであなたを切ってもいいですか」

と切る前にきちんとわけをはなして下さい

でも木が「私を切ってはだめです」

と言ったら、切らないで下さい

木のことは、だれでもわかるはずですよ

木だって生きているのですから

木にそっと耳をちかずけてしずかに聞いて下さい

すると、木の中からふしぎな音が聞こえてきます

私はそれが木の声だと思います

切る前には、その声をよく聞いてあげて下さい

木の気持ちもわかってあげて下さい

聞かないで、木を切ってしまうと、木はおこってしまいます

でも、もし木が「私がやく立つなら切ってもいいです」

といったらやさしく切ってあげて下さい

でもたくさん木を切らないで下さい

木は自分のいのちをあげるのですから

ロータリーが 100年を迎えた時、次の 100年の我々の目標は人々の相互理解であり、平和な社会の実現だ。とグレン・エステス元 RI会長は言っておられました。「相互理解」「共存共栄」この思想なしには世界の平和は望めないのではないのでしょうか。今後の世界は、多様な価値観の存在を互いに認めた上での共存しかあり得ないと思います。価値観は宗教・言語・習慣の違いによって成り立っているため、容易に妥協できるものではないことも知った上で、互いの存在や価値観を尊重し、共存共栄の道を模索していく必要を求められています。共存共栄は民族対立、宗教対立でない、一段次元の高いものです。

ロータリー・クラブ会員は、クラブと言う学校で「相手のことに思いを馳せ、相手を助ける」という奉仕の理想を学び、その真意が、共存共栄であることがわかります。（渡辺好政元 RI会長）ロータリーの愛は全ての人類はもとより、この世に生きとし生けるもの全てに向けられたものです。その愛から人間同士の共生、動物、植物との共生、自然との共生という共生の心が生まれてきます。

人間は「共存共栄」の心を持ってこの世に生まれて来るのではないのでしょうか。その心を大切に育てるためにも、一人でも多くの若者に、異文化の中で過ごし、または異文化と接し共存共栄を肌で感じ取れる機会を提供することに、ロータリー活動の重要項目として、ロータリーの新世代のためのプログラム（青少年育成、青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクト）、は貢献しています。「素晴らしい世界を後世に残すために、まず若い世代に焦点を当てなければなりません。」

(D.K.Lee RI会長)



新世代プロジェクト委員会 研修セミナーを終えて

新世代プロジェクト委員長

川 名 悟 (宇都宮 90RO)

羽石年度が始まって間もない 7月 13日 (日) 宇都宮東武ホテルグランデを会場に『新世代プロジェクト委員会研修セミナー』を開催致しました。当日は、羽石光臣ガバナー、大竹義夫新世代カウンセラーご臨席の元、ガバナー補佐、各クラブ、地区より約 80名の皆様にご参集頂きました事をご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

羽石ガバナーのご挨拶に続き、今年も午前中に講演会、午後に研究会というプログラムでの実施となりました。講演会前半は、栃木県教育委員会学校教育課小中学校教育担当副主幹の青木徹様より『栃木県におけるキャリア教育の現状と課題』というテーマの元に講演を頂きました。折しも当地区でも昨秋、多くのロータリアンの皆様のご協力を得て「ロータリアン講師派遣、教員生徒職場体験リスト」が完成し、栃木県教育委員会を通して県内全小中学校、高等学校に配布して頂いたところです。講演の論旨としては、民間人による学校での出前講座は現在も各学校で実施され、職業体験、あるいは永年の趣味にまつわる体験談などの発表を通して、生徒達が職業に対する意識や興味を喚起する、また、ひとつの事に打ち込むことの尊さを学ぶきっかけとなるなど一定の成果が現われているとの事でした。しかし、職場体験の受け入れ事業所を探す事には各学校とも苦慮しており、先の名簿の活用を通して、ロータリーが学校と企業を結びつけるコーディネーター的な役割を果たして頂けるとありがたいとのことでした。県にもそのような学校と企業を結び付ける機関はまだないとのことで、今後の名簿の有効活用によって我々がその役割を果たす事ができるのではないかと改めて感じました。

後半は、東京八王子南ロータリークラブ神山晴雄様による『高校生の就業体験について』と題された講演でした。神山様は、第 2750地区 2007年～ 08年インターンシップ委員会委員長をお務めになられた方で、今年 5月の全国青少年育成委員会議でも地区の取り組みについて発表されました。高校生によるインターンシップの成果として、学校では、挨拶ができない、遅刻をするといった生徒達が、企業での就業体験によってそれらができる生徒達へと変わっていったということ、実際の職場を経験することによって、職業を持つことの価値観を認識し、就業意識にめざめたということです。また、保護者からは、子供達の変化と大きな成長ぶりに感謝を受けたということでした。「ロータリーの奉仕としては、お金をかけずに出来る一番の社会奉仕」という神山様の言葉が印象に残りました。また、宇都宮市在住のエッセイスト志賀かう子氏の近著「望郷の食卓」からの引用を元にしたの話もあり、より身近な話題として皆様の元に届いたものと思います。

続く午後の研究会では、新世代プロジェクト 5委員会（青少年育成・青少年交換・ライラ・ローターアクト・インターアクト）による新年度の地区の取り組みについての発表と積極的な質疑応答が交わされ、充実した討議の下予定通りプログラムを終了致しました。

今月 9月は新世代月間です。日本の、そして世界の未来を担う若い世代が夢をかたちにできるよう、我々もさらに学校、地域社会と手を取り合ってゆこうではありませんか。



インターアクト・クラブ 2度目のタイ・バンコク研修報告 (その1)

新世代プロジェクト
インターアクト委員会委員長
月 江 寛 智 (黒磯 RO)

7月 24日～ 28日にかけて、昨年に引き続き酷暑の中、バンコクに海外研修を実施した。

参加は、青藍泰斗高校、宇都宮短期大学附属高校、県立塩谷高校、県立黒磯高校、作新学院高校の5校のインターアクト・クラブから26名の参加です。また、各インターアクト・クラブの顧問教師4名、関係ロータリアン6名の合計36名の訪問団構成でした。参加費は石油の値上がりなどによる燃料サーチャージの高騰で、前回に比べ数万円の負担増もあり今回の参加希望者は出足が悪く少人数での研修になると予想されました。しかし、最終的には参加希望の多いクラブから数名の希望者を割愛しなければならないという状況になり、関係高校には大変ご苦勞をおかけする結果となりました。

インターアクト・クラブは、奉仕活動と国際理解という2つの大きな目標があり、岡川前委員長の計画を踏襲し、地区委員会としてその実践の場に2度目のタイ海外研修を企画し提供したわけです。

今回、7月 25日午前中に、タイ障害児財団の施設モーニ・ティプ・アレピタに20台の車いすを贈呈しました。実は26日に訪問する予定でしたが、施設が休みになるというこ

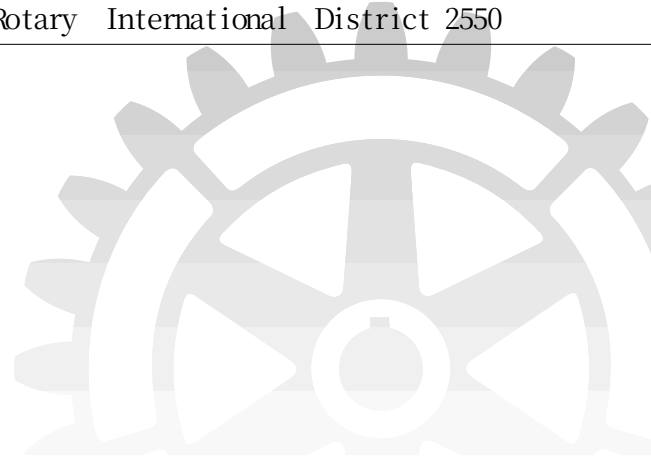
とで繰り上げ訪問です。日本にも研修に来たことがあり、日本語を話す責任者のチャイヤ・ヌマリーさんの説明を受けました。質問にも答えてくれ、参加者にはタイの障害児施設の運営の一端を知ることができたと事と思います。付き添いのご家族も交えて記念撮影をし、インターアクター達には入所者との交流もあり無事に車いす輸送の役目を果たしました。

この車いすは、栃木工業高校、真岡工業高校をはじめ、全国60校にのぼる工業高校の「空飛ぶ車いす学校グループ」がボランティアで回収修理したものを、今回インターアクターが手荷物一人20キロの枠を利用して空輸運搬し、車いすを必要としている施設に贈呈するというボランティアリレーを引き受けたわけです。

今回は台数が多く、タイの空港税関で詳細な聴聞があり、1時間ほど予定が遅れホテルに着いたのは11時を過ぎてしまったのが予想外でした。

空輸は(財)日本社会福祉弘済会が仲介し、車いすの需要と供給の紹介事務を行っています。空港での運搬は一人一台名札を付けて責任をもって運びましたが、今回は26名の内24名が女子ということもあり、施設までは





運搬車で運んでもらいました。

25日の午後はバンコク市内の日本語学校「早稲田エデュケーション・タイランド」との交流を行い、参加高校の学校紹介の後、タイの学生が作ってくれたタイ語とローマ字で書かれたネームプレートを下げて数名のグループに分かれ、折り紙やアヤトリ、音楽情報などを話題にフリートークを行い和やかに交流しました。彼らの日本語研修に貢献し、インターアクター達には実地の国際理解をはかることができた事と思います。

最後は塩谷高校の準備した「おぼろ月夜」の歌詞パンフレットで、輪になって全員合唱でしめくり、3時間にわたる交流会を閉じました。

早稲田大学国際部の高橋秀一氏は、「このような交流は生の日本語研修になり大変貴重

な機会である」と謝辞がありました。

(以下次号)





クラブ奉仕委員長研究会報告

地区クラブ奉仕委員会
委員長

亀田 清 (田沼 RO)

7月 21日（祝日）に宇都宮グランドホテルで 314名の登録をいただき開催致しました。

1時 30分より全体会議を開催しガバナー挨拶、基調講演として直前ガバナー 近藤隆亮 氏のご講演を 1時間にわたり「ロータリーの真髄」をテーマに行いました。

ガバナーよりクラブ奉仕委員会は奉仕活動の花を咲かせ実を付けるために必要な水と栄養を集める「根」にあたる重要委員会であるとの挨拶で、2008年度ロータリーテーマ「夢をかたちに」の下、ロータリーの樹を大きく育てる委員会と再認識致しました。

以下、分科会での研修報告は各委員長が中心となり 2時間にわたり行われた報告です。

1 情報委員会

ロータリーホームページの充実と全 50 クラブ共有の情報を正確かつ早急に配信致します。

2 広報・雑誌委員会

各クラブの地域貢献活動を市民・県民の皆様理解していただく様、マスコミ等を通じて発信いたします。又、ロータリーの友への投稿を積極的にお願致します。

3 会員組織委員会

- ・ 1クラブ純増 1名の増員目標の為努力致します。
- ・ 3年未満の新入会員の退会防止の為家族委員会と連携し、ロータリーを理解し溶けこむ様努めます。
- ・ 女性会員未クラブの 24クラブに積極的に入会促進致します。

4 ロータリー家族委員会

- ・ 新入会員にクラブの理解の為、会員全体で対応する。
- ・ 親睦を通じて信頼関係の構築を計る。
- ・ 夜間例会、ゴルフ、企業訪問等積極的に企画しクラブ内の融和を計る。

5 クラブ奉仕委員会

各クラブでの地域貢献活動状況や、会員増強に対する取り組みを話し合いました。

クラブ奉仕委員会と致しましては、4つの委員会が連携を密にいたしまして、情報を交換しながら活動してまいります。

奉仕の理想と親睦の理念をもって地域社会に貢献していくために、有意義な研究会だったと確信致しました。



公式訪問だより

宇都宮 ロータリークラブ公式訪問

- 7月 8日（火曜日）
- 会場：東武ホテルグランデ

第 3グループ A・ガバナー補佐
高橋 和 夫



羽石年度 最初のクラブ公式訪問が第 3グループ（A）の宇都宮ロータリークラブとなりました。7月 8日（火）年度スタートして第 2週目 歴史と伝統ある第 2550地区を代表する 宇都宮ロータリークラブ訪問は 午前 10時 30分より 東武ホテルグランデにて、午前中 斉藤高蔵会長 木村正樹幹事 久保井一臣会長 エレクト 小牧伸敏副会長同席のもと懇親会が行われ 会長よりクラブ現況及び基本方針運営等々について説明があり、それを受けて羽石ガバナーよりの確な また わかりやすい指導を頂きました。

羽石ガバナーは特に伝統あるクラブであり 会員相互の連携を密にしながらクラブの活性化を図り、自主性をもったクラブ運営に取り組み、クラブ発展に尽力するよう指示されました。12時 30分より例会となり全会員に対しロータリーについての全般に亘る卓話を頂きました。例会終了後炉辺会合に入り、地区における基本的な取り組みや、地区におけるクラブの問題解決に対する支援等の仕組みの説明があり 大変有意義な公式訪問となりました。

また、宇都宮ロータリークラブの斉藤会長はじめ幹部の方々には、年度スタートして大変忙しい中 クラブ現況報告書も早々作成され、何かとご協力頂きましたことを重ねて御礼を申し上げ報告と致します。

小山北 ロータリークラブ公式訪問

- 7月 16日（水曜日）
- 会場：和田屋新館

第 5グループ・ガバナー補佐
柿 沼 幸 宏



小山北クラブは「例会から活動へ」山本勝会長のテーマの通りロータリアンの三大義務の 1つである例会出席からすべてがはじまるという理念のクラブである。何度も出席優秀クラブ賞を受け、特に米山功労賞は 14回も受賞しているクラブである。

さて、7月 12日地区で 2番目の早い公式訪問が、羽石ガバナーをお迎えして行われた。懇談会には会長、幹事他、2名参加し、ガバナーより先ず現況報告書の内容について詳しく説明をいただき、その内容は年々新しく変化しているものと指摘され懇切丁寧にご指導を頂いた。又文献もいくつかご紹介いただき「ロータリー入門書」「ロータリーの心と原点」等是非読んでみてはいかがかと奨められた。その後、通常例会、そして羽石ガバナーの卓話にはいり、ロータリーの歴史、章典、定款、細則等基本的な卓話を頂いた。

例会終了後、前もって補佐が開いたクラブ協議会についてレポートしたいいくつかの問題点、質問事項に丁寧に答えていただき、特に職業奉仕について重点的にお話をいただき、無事、有意義で、素晴らしい羽石ガバナー公式訪問が終了した。

最後にガバナーを囲んで集合写真を撮り、皆笑顔で散会した。



公式訪問だより

壬生

ロータリークラブ公式訪問

- 8月6日（水曜日）
- 会場：星の宮カントリークラブ

第6グループ・ガバナー補佐
平野正之



8月6日 10時40分集合

予定の10時40分にはガバナーも到着なされ11時開始予定の会長、幹事会は予定より早く開始され例によって瀬下会長の軽妙な発言進行の下さまざまな問題提起がなされた。

- 1) ロータリーは寄付を主に提案すると入会を勧めずらい、如何したら良いか？
- 2) 会員の人数を多くするのが先か？ 奉仕が先か？ 財団の寄付割り当てが先か？ 米山が先か？
- 3) 職業奉仕に重きを置くのが良いのではないか
参考までに、学友のみで結成されたクラブが湘南にあり湘南学友クラブとして年会費6万円で活動している。
- 4) 会員増強の手段として、定年退職者の処遇を考えられないか？
80歳以上は年会費半額？ 親子の場合子は入会金0
- 5) 地区としての委員の選定について考える余地があるのではないか？
いつも前例に従っているように思えるが、これは必ずしも良い習慣とは思えないが。

壬生クラブとしては退会をする時は、必ず入会希望者を1人以上紹介をしなければ退会を認めない。例会場に、友人を連れてくるように勧めている。其の中から入会を勧める。

ガバナーより、現況報告書に就き2、3注意指摘、指導がありました。
ガバナーの考え方、方針、RIの方針につき説明有り。

災害時素早く行動を起こさないと災害援助の意味がなくなるのではないか。最良のシステムを作るようにクラブ側から要望有り。
バナーを交換して無事終了。





よねやま雑感



羽石ガバナーと 2550地区ロータリアンに捧げる。
元気のよい楽しいロータリアンの毎日を願って。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
理事長

板橋 敏雄（足利東 RO）

猛暑と共に豪雨に見舞われた 8月も半ばを過ぎ、爽やかな秋の到来です。この時期に真に相応しいと思われる話題は、日本のロータリアンが世界に誇る事の出来る米山記念奨学会制度ではないでしょうか。昨年の 8月よりこの財団の理事長を務めています。私は昨今の原油の高騰や世界的な経済乱調の中で、6月末の日本のロータリアンからの米山記念奨学会へのご寄付も影響を受けるものと危惧しておりましたが、6月末の皆様からの浄財の合計は、本年度の目標額である 14億 5千万円を 30万円超過して達成できました。なんと素晴らしい日本のロータリアンの奉仕への熱情と言わざるを得ません。理事長として深々と頭を垂れた次第です。特にわが地区は、個人平均寄付額で 34地区中第 4位の成績を収めました。衷心より感謝申し上げます。それ

も地区内の多くのクラブが世話クラブの経験を持ち、米山記念奨学会学友に対する理解と愛情を経験しているからだと思います。母国に帰った米山学友の人達も夫々のお国で大きな仕事を担う時期がすでに到来しています。それが証拠に、学友からの恩返しのご寄付が 1千万円を超えました。私達は、より強く米山を支持し、協力してアジアの平和に大きく貢献できると思います。米山記念奨学会理解の為に、私の属する第 8グループでは、9月 21日に三島市の米山記念館を訪れ秋季例大祭に出席して、同記念館で本事業の価値ある歴史を学んで来ようというプランが進行しています。学び、行動しそしてそれが感動を巻き起こし、更なる行動へのパターンが正しくロータリー・マジックです。





(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま 102号★ 2008年 8月 13日発行

今月のトピックス

- 1 寄付金速報 — 今年度も好調なスタート! —
- 2 もうすぐ募集開始! — 2009学年度の指定校が決定 —
- 3 お待たせしました! 今年も『豆辞典』を発行します
- 4 ホームカミング制度の申請状況
- 5 あなた方のように生きていきたい! — 奨学生からのメッセージ —

1 寄付金速報 — 今年度も好調なスタート! —

2008-09年度が始まって1カ月が経過しました。7月の寄付金は約2億2千万円で、前年度に比べて1.4%増、約3百万円の増加です。普通寄付金が2.0%増、特別寄付金が0.2%減と、普通寄付金の納入が良好な滑り出しとなりました。

今年度の予算目標額は、前年度と同じ14億5千万円です。今後も、日本のロータリアンが誇りとする米山記念奨学事業発展のため、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

2 もうすぐ募集開始! — 2009学年度の指定校が決定 —

2009年4月採用の奨学生を推薦してもらう指定校が、各地区米山記念奨学委員会からの報告により決定しました。指定校は全国で432校(前年度408校)です。

大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは7地区11校で、6校が初めて指定校に選ばれました。

また、学校が推薦者を選考する際の「選考の目安」を提示した地区は25地区で、「1カ国の割合は〇%以下に」といった「国籍割合への配慮」を望む声が21地区、「日本語運用能力」を求める地区が16地区と多く挙げられました。このほか、できるだけ多くの奨学生を支援するため、奨学期間が1年間となる「最終学年在籍者」を望む地区が、昨年度の8地区から10地区に増加しました。【今後のスケジュール】

- ・ 8月15日 当会HPに指定校・募集要項公開
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
- ・ 10月15日 申し込み締め切り(米山記念奨学会事務局で書類チェック後、申込書類を各地区へ発送)
- ・ 12月～1月末 各地区選考試験実施、決定順に合格発表

3 お待たせしました! 今年も『豆辞典』を発行します

昨年リニューアルし、好評をいただいている『ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典』を今年も発行します。

持ち運びに便利なポケットサイズの『豆辞典』は、奨学会の歴史や財政、いただいた寄付金の使途、表彰制度や米山学友の情報など、“よねやま”を理解するための基本情報がすべて掲載されています。10月の米山月間資料として、全クラブに会員数分送付しますので、ぜひご覧ください。

※『豆辞典』を含めた米山月間資料は、9月中～下旬に全ロータリークラブへ送付します

4 ホームカミング制度の申請状況

成長した米山学友が社会で羽ばたく姿を見ることが、ロータリアンの醍醐味といえましょう。今年度からスタートした「米山学友ホームカミング制度」は、この醍醐味をロータリアンの皆さまへ確実に届けることのできるプログラムです。※制度の概要や申請書は当会HPをご参照くだ



さい

本制度は、海外で活躍する米山学友を各地区年間 1名日本に招待し、彼らの業績や日本留学を振り返っての思いを地区大会などで披露し旧交を温めていただくものです。8月現在、7地区から申請を受けています。まだ検討していない地区も、ぜひ本制度をご活用ください。

● 8月現在、招待が決定している米山学友
(申請順)

- ・【第 2710地区】 劉 曉梅さん(中国):
「日中両国の福祉分野」で活躍
- ・【第 2620地区】 キャンサーン・スパンニーさん(タイ):
ウボンラチャタニ・ラジャバット大学工学部
教授として活躍
- ・【第 2730地区】 宋 仁徳さん(中国):
青海省で「草地生産と生態保護の両立」を研究
- ・【第 2500地区】 肖 寧さん(中国):
四川省疾病対策センター副所長。四川大地震
の際に中国政府の要請を受け、被災地に駆け
つけた
- ・【第 2590地区】 張 蕾さん(中国):
大連海事大学の日本語学副教授として活躍。
日本語能力検定 1級合格率 9割の実績をもつ
- ・【第 2770地区】 林 錫杰さん(台湾):
(財)食品工業研究所生物資源センター研究員
として活躍
- ・【第 2750地区】 李 賢起さん(韓国):
日本語研究者として NHKハングル講座や KBSテ
レビ日本語講師などで長年日韓学術交流を進め、
平成 18年、日本政府から旭日章を受章

5 あなた方のように生きていきたい！
— 奨学生からのメッセージ —

ロータリー米山記念奨学会では、奨学生・学友の誕生日にお祝いの Eメールを送っています。毎日、受け取った奨学生・学友たちからのお礼と近況報告のメールがたくさん届きます。今回は、その中の一人、第 2700地区の米山記念奨学生、金 善さん(中国/九州国際大学大学院/小倉西 RC)からのメッセージを紹介します。金さんは、市立図書館の国際交流イベントに参加して感じたことなどを報告してくれました。

「図書館のイベントを通じて感じたことは、“国籍・民族は違って、みんなの思いは同じ”ということです。外国の遊びを日本人の子供たちに紹介したら、みんな素直に受け止めてくれて、とても楽しそうに参加してくれました。子供たちの天真爛漫な様子を見て、思わず私も笑みがこぼれました。その一方で、戦争で家や家族を失い、学校に行けなくなった子供たちはどんな思いで生活しているのかと胸が痛みました。私たちの今の生活がどれほどありがたいか、考えさせられたひと時でした。

私もロータリークラブの皆様のように、他人の役に立つことができたらいなと思います。米山奨学生として、毎月 1、2回、小倉西ロータリークラブの例会に参加します。参加しているうちに、このように思うようになりました。私もあなた方のように生きていきたい！と。私はロータリークラブの皆様を心から尊敬しています」

以上

【 財団法人ロータリー米山記念奨学会 】

事務局長 / 坂下博康
編集担当 / 野津・峯・大庭

■ TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281
■ 問い合わせメール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
■ 米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



第 2550地区 新入会員



はやし ただ もと
林 唯 元 (栃木西 RO)
宗教法人 星宮神社 宮司
入会年月日 平成 20年 5月 13日



おの のぐち よし はる
小野口 美 治 (栃木西 RO)
小野口商事 代表取締役
入会年月日 平成 20年 5月 13日



なか むら かず お
中 村 和 男 (栃木西 RO)
センタービレッジコーポレーション
代表取締役
入会年月日 平成 20年 7月 1日



たか く あき お
高 久 陽 良 (栃木西 RO)
株式会社タカキュー 代表取締役
入会年月日 平成 20年 7月 1日



しま だ ゆう じ
嶋 田 有 志 (鹿沼東 RO)
嶋田屋酒店 専務取締役
入会年月日 平成 20年 7月 1日



きた やま きみ ひさ
北 山 公 久 (鹿沼東 RO)
栃木銀行鹿沼支店 支店長
入会年月日 平成 20年 7月 1日
入会を喜びとして活動を楽しみにして、そしてしっかりと学びたいと思います。



えん どう てつ や
遠 藤 哲 也 (宇都宮 90RO)
(株)伊藤園宇都宮西部支店 支店長
入会年月日 平成 20年 7月 1日



くり はら しず お
栗 原 静 夫 (宇都宮陽北 RO)
ベルヴィ宇都宮 支配人
入会年月日 平成 20年 7月 2日
諸先輩方のご指導よろしくお願い申し上げます。



せき ぐち こう いち
関 口 幸 一 (栃木 RO)
栃木信用金庫 本店営業部長
入会年月日 平成 20年 7月 2日
「覚えよう」「やり抜こう」という気概を持って行動する。



み うら せい いち
三 浦 清 一 (大田原中央 RO)
(資)三浦屋 代表取締役
入会年月日 平成 20年 7月 2日
多種多様な業種の皆様と楽しく活動したいと思います。宜しくお願い致します。



えん どう いさお
遠 藤 勲 (那須 RO)
森観光トラスト株式会社 ホテルラフォーレ那須
入会年月日 平成 20年 7月 3日
地域の為に、少しでもお役に立つよう、活動させて頂きます。



なか むら み み
中 村 美 美 (宇都宮陽南 RO)
美 社長
入会年月日 平成 20年 7月 3日
紹介者から話を聞いて、とてもロータリーに興味を持ちました。がんばります。

なが い のぶ よし
永井 信好

(宇都宮陽南 RO)

直木屋工業 専務取締役

入会年月日 平成 20年 7月 3日

しっかりみなさんについてゆきます。よろしくお
願い致します。やま ざき とも
山崎 知

(宇都宮陽南 RO)

ココロ 社長

入会年月日 平成 20年 7月 3日

ロータリークラブとは、どんな所か、まず自分で
しっかり確認させていただきます。た しろ まさ ひさ
田代 正久

(那須 RO)

カフェ ペレンヘーナ

入会年月日 平成 20年 7月 10日

うち もと のり お
打本 訓生

(足利 RO)

かざか証券(株) 足利支店 支店長

入会年月日 平成 20年 7月 11日

伝統ある足利 ROに入会でき、光栄に思います。今後、
宜しくお願いします。こ まつ もと さとる
小松本 悟

(足利 RO)

足利赤十字病院 院長

入会年月日 平成 20年 7月 11日

地域に根ざし、地域の方々に信頼され続ける様な病
院を創ります。さい とう たかし
齋藤 隆

(西那須野 RO)

栃木銀行西那須野支店 支店長

入会年月日 平成 20年 7月 15日

かな ざわ まさ くに
金澤 正邦

(宇都宮東 RO)

(社) 栃木県医師会 保健委員会副委員長

入会年月日 平成 20年 7月 15日

人生の新しい出会いを求め、勉強して参ります。宜
しくお願い致します。た なか あきら
田中 彰

(宇都宮 RO)

宇都宮証券 代表取締役社長

入会年月日 平成 20年 7月 16日

お詫びと訂正

■ 第7グループ日光 R.C. 会長 井上楨子 → 佐藤和之

さ とう かず ゆき
会 長 佐藤 和之

佐藤林業 代表

〒 321-1356 日光市滝ヶ原 3972

TEL. 0288-63-3598

FAX. 0288-63-3598

(自) 〒 321-1356 日光市滝ヶ原 3972

TEL. 0288-63-3598

FAX. 0288-63-3598

E-mail : kazuyuk.2317@docomo.ne.jp

はら だ す み
幹 事 原田 スミ

(医) 湯川会湯川内科クリニック 取締役

〒 320-0066 宇都宮市駒生町 3367-7

TEL. 028-643-1114

FAX. 028-643-1082

(自) 〒 321-1412 日光市東和町 99

TEL. 0288-53-0118

FAX. 0288-53-0018

日 光 R.C.
創立 1959. 6.23事務所 〒 321-1401 日光市上鉢石町 1300
例会場 〒 321-1401 日光市上鉢石町 1300日光金谷ホテル
日光金谷ホテルTEL0288-54-0001 FAX0285-53-2487
TEL0288-54-0001 FAX0285-53-2487例 会 日
水曜日 12:30

■ 月信第2号「6月会員増強・出席報告」岩城様の平均出席率の訂正【誤: 54.09 → 正: 84.09】



米山記念奨学会・R財団 表彰

米山功労者一覧表

2008年6月分

※ 2以上はマルチプル、10以上はメジャードナー

足利東RC	板橋敏雄	第64回	(メジャードナー)
足利東RC	板橋敏雄	第65回	(メジャードナー)
足利東RC	板橋敏雄	第66回	(メジャードナー)
足利東RC	板橋敏雄	第67回	(メジャードナー)
足利東RC	板橋敏雄	第68回	(メジャードナー)
葛生RC	相子光太郎	第4回	(マルチプル)
葛生RC	福島秀治	第4回	(マルチプル)
葛生RC	小林祥郎	第3回	(マルチプル)
葛生RC	野部栄一	第7回	(マルチプル)
葛生RC	奥澤松利	第1回	
葛生RC	斉藤誠司	第2回	(マルチプル)
葛生RC	酒庭和一	第3回	(マルチプル)
葛生RC	関口文雄	第1回	
葛生RC	須藤功一	第1回	
葛生RC	谷和文	第1回	
葛生RC	八下田幸三	第1回	
葛生RC	吉澤兵左	第15回	(メジャードナー)
真岡西RC	西田一之	第2回	(マルチプル)
塩原RC	清水修一	第1回	
氏家RC	青木仁也	第1回	
氏家RC	飯島功	第1回	
氏家RC	菊地昭二	第1回	
氏家RC	長島久登	第2回	(マルチプル)

米山功労クラブ

足利東RC 第29回

氏家RC 第15回

ロータリー財団

2008年5・6月分

(ポール・ハリス・フェロー)

氏家RC 長島久登

塩原RC 清水修一

(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

宇都宮北RC	鈴木宏	5
足利RC	大谷武二	2
黒羽RC	加藤利勝	2
葛生RC	相子光太郎	2
葛生RC	飯田力	2
葛生RC	野部栄一	2
葛生RC	奥山國之	4
葛生RC	酒庭和一	2
葛生RC	寺内聖	1
葛生RC	吉澤兵左	6
葛生RC	吉澤俊夫	2
宇都宮北RC	旭野一郎	1

文庫通信 251号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より (2)

- 「ロータリーの理想」ビチャイ・ラタクル 2008 6p (D.2580地区大会記録)
- 「ロータリーの向うべき道 (シンポジウム)」小沢一彦 (モデレーター)
2008 23p (D.2780地区大会報告書)
- 「職業奉仕の重要性について (2008年国際協議会リポート)」
渡辺好政 2008 2p (D.2690月信)
- 「ロータリーの綱領」鈴木政昭 2008 2p (D.2800月信)
- 「決議 23- 34の徹底的解析」田中 毅 2008 8p (D.2510地区大会記録)
- 「決議 34号」鈴木政昭 2008 3p (D.2800月信)
- 「増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法 それは新会員の意識を高める
ことから出発する」服部芳樹 2008 5p (D.2510地区大会記録)
- 「今だからこそ問う ロータリーとは何か」深川純一 2008 8p (D.2830地区大会記録誌)
- 「ロータリーを生きる」佐古亮尊 2008 13p (D.2830地区大会記録誌)
- 「CLPとロータリー」神崎正陳 2007 6p (D.2500地区大会報告書)

〔上記申込先: ロータリー文庫(コピー／PDF) 〕

【 ロータリー文庫 】

〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL(03) 3433-6456 FAX(03) 3459-7506 【 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 】
開館 = 午前 10時～午後 5時 / 休館 = 土・日・祝祭日

通 信 欄

【 お知らせ 】

邦訳版ロータリー章典の改訂版、2008年 6月版がウェブに掲載されました。

- RIのウェブサイトを「会員」、「方針と手続」、「方針に関する文書」と順次リンクしていただくと関連資料にロータリー章典が掲載されておりますので、こちらからダウンロードすることができます。

<http://www.rotary.org/ja/Members/PoliciesAndProcedures/PolicyDocuments/Pages/ridefault.aspx>

- なお、直接ファイルをご覧になる場合には以下のリンク先をご利用ください。ファイルサイズは4.2MBとなります。

http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/code_ja.pdf

【 国際ロータリー第 2550地区 7月会員増強・出席報告 】

区 分	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例回数	今 月	平 均	7月 旧	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	5	91.20	91.20	44	44	0	0	0	0	0	2
	黒 磯	5	100.00	100.00	45	45	0	0	0	0	0	2
	西 那 須 野	5	100.00	100.00	48	48	1	1	1	1	0	0
	黒 羽	4	95.59	95.59	17	17	0	0	0	0	0	1
	那 須	5	77.56	77.56	18	21	3	0	3	0	3	2
	塩 原	5	80.00	80.00	10	10	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	4	78.80	78.80	20	21	1	0	1	0	1	1
第2グループ	烏 山	4	82.35	82.35	17	17	0	0	0	0	0	1
	氏 家	5	85.71	85.71	32	32	0	0	0	0	0	0
	矢 板	5	93.30	93.30	32	32	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	4	89.20	89.20	21	21	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	4	80.55	80.55	19	18	0	1	0	1	- 1	0
第3グループA	宇 都 宮	5	75.20	75.20	94	93	0	1	0	1	- 1	0
	宇 都 宮 西	4	84.97	84.97	61	63	2	0	2	0	2	0
	宇 都 宮 北	5	75.65	75.65	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇 都 宮 9 0	3	87.70	87.70	38	38	0	0	0	0	0	4
	宇 都 宮 陽 北	5	92.10	92.10	35	35	0	0	0	0	0	5
第3グループB	宇 都 宮 東	5	95.72	95.72	98	99	1	0	1	0	1	0
	宇 都 宮 南	5	71.95	71.95	56	56	0	0	0	0	0	0
	宇 都 宮 陽 東	5	75.20	75.20	44	44	0	0	0	0	0	1
	宇 都 宮 陽 南	5	83.00	83.00	18	23	5	0	5	0	5	4
第4グループ	真 岡	4	92.34	92.34	51	52	1	0	1	0	1	0
	益 子	4	91.00	91.00	34	34	0	0	0	0	0	0
	真 岡 西	5	93.64	93.64	47	47	0	0	0	0	0	10
	し も つ け	5	92.04	92.04	31	31	0	0	0	0	0	8
第5グループ	小 山	5	86.40	86.40	47	46	0	1	0	1	- 1	0
	小 山 南	4	100.00	100.00	18	18	0	0	0	0	0	2
	小 山 東	4	91.43	91.43	35	35	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	5	79.18	79.18	25	26	1	0	1	0	1	0
	小 山 中 央	3	72.00	72.00	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	5	79.25	79.25	48	48	0	0	0	0	0	0
	栃 木 西	5	82.74	82.74	42	42	0	0	0	0	0	0
	壬 生	5	77.14	77.14	21	21	0	0	0	0	0	2
	栃 木 南	4	89.50	89.50	34	34	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日 光	3	77.97	77.97	28	28	0	0	0	0	0	5
	鹿 沼	5	93.88	93.88	72	72	0	0	0	0	0	1
	今 市	5	92.09	92.09	43	43	1	1	1	1	0	0
	鹿 沼 東	5	95.55	95.55	44	44	0	0	0	0	0	2
	粟 野 西 方	5	92.84	92.84	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿 沼 中 央	5	75.61	75.61	27	28	1	0	1	0	1	2
	今 市 き ぬ	4	95.77	95.77	28	30	2	0	2	0	2	1
第8グループ	足 利	4	75.84	75.84	46	48	2	0	2	0	2	0
	足 利 東	3	73.81	73.81	58	58	0	0	0	0	0	8
	足 利 西	5	76.80	76.80	14	14	0	0	0	0	0	0
	足 利 わ た ら せ	5	100.00	100.00	32	32	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	3	91.52	91.52	53	53	0	0	0	0	0	0
	葛 生	5	95.40	95.40	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	4	95.52	95.52	34	35	1	0	1	0	1	1
	佐 野 東	5	82.61	82.61	23	23	0	0	0	0	0	0
	岩 舟	5	91.00	91.00	25	25	0	0	0	0	0	1
	5 0 R C		86.57	86.57	1861	1878	22	5	22	5	17	78